

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	相模湖漕艇場
指定管理者	特定非営利活動法人神奈川県ボート協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	スポーツ課 ()

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

A

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 提案に基づいた指定管理業務を着実にを行うとともに、各種競技大会の受入れやボート教室の開催を通じて多様な利用者に対するサービスの向上に努めた。船台への除草シート張りなど工夫を凝らした施設・設備の維持管理や、利用者からの要望を踏まえたトイレの洋式化改修工事など、事業計画書を上回る取組を実施したため、A評価となった。</p> <p>< 2 収支状況 > 前年同期対比増減率12.3%のプラスと利用者も確実に増加しており、年度計画どおりの利用料金収入を確保した。収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比0.3%減）を計上したが、これは漕艇場のオフシーズンである今期（下半期）に、コースブイの購入や作業艇及び艇のメンテナンスに伴う支出増であり、概ね計画どおりの収支状況であることから、B評価となった。</p> <p>< 3 利用状況 > 単身者や回帰者（十数年ぶりに乗艇する利用者）等へのきめ細やかなサービスの提供に取組んだ結果、平日における利用者数の増加に寄与した。また、各種大会を積極的に受け入れた結果、目標対比増減率で58.1%のプラス、また、前年同期対比増減率でも12.4%のプラスとなったためA評価となった。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 10月に実施し、上位2段階の回答割合が89%となったためA評価となった。回収率は、窓口において利用者への呼び掛けに努めた結果、91.6%と高くなった。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 主だった苦情・要望等はなかったことから、B評価となった。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 特段事故もなく、未然の事故防止を図るなど適切な施設運営を行ったことから、A評価となった。</p> <p>< 今後の方針等 > 引き続き現行の取組を継続するとともに、利用者からの要望を踏まえた事業展開を行うことにより、更なる利用拡大とサービスの向上に努めてもらいたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **A**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	シーズン前の漕艇場の無休化及び開場時間の拡大を実施する。	<p>利用促進のため、平成26年3月25日～平成26年9月30日までは原則無休とし、開場時間についても利用者の要望及び安全を考慮し、シーズンに備えて開場時間の拡大を図った。</p> <p>【平成25年度下半期拡大開場実施日】 3月25日（火）～3月31日（月）</p> <p>【開場時間】 午前6時30分～午後6時30分</p> <p>【早朝夕方利用者】 ・ボート41人、カヌー16人</p>

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	競技の振興と地域振興	<p>平成25年11月2日～11月3日に河口湖漕艇場（山梨県）で開催が予定されていた関東高等学校選抜ボート大会が濁水により開催出来なくなったことを受け、競技の振興と地域振興を図るため、相模湖で代替開催を行った。＜97クルー・監督選手延べ760名が参加＞</p> <p>平成25年11月17日に、世界ジュニア選手権日本代表候補関東地区水上タイムトライアルを相模湖漕艇場で開催した。＜49名の高校生が参加＞</p> <p>「クリスマスイルミネーション」や「公園内植樹」など、県立相模湖公園の指定管理者である相模湖観光協会への協力を通じて、地域振興の一翼を担った。</p> <p>平成25年11月12日 公園内植樹実施 平成25年12月1日～平成26年1月13日 クリスマスイルミネーション</p>
3 (指定管理業務)	施設・設備の維持管理について	<p>夏になると未整備の船台に雑草が生えるため、年に4回程度草刈りを行っていたが、美観上と労力を考え、除草シートを張った。シートを張ったことにより、観光協会から好評を得た。</p> <p>○艇の修理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県有艇の修理 5艇 ・保管艇の修理 3艇 <p>○モーターボートの修理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県有艇 2艇 ・保管艇 1艇
4 (指定管理業務)	利用者の要望（アンケート結果）の実現について	<p>数回のアンケート結果で、トイレの洋式化の要望が最も多かったため、10月に2基を洋式化した。</p>
5 (指定管理業務)	安全対策について	<p>単身者や十数年ぶりに乗艇する利用者についてはモーターボートの伴走をして、安全確保を図った。</p> <p>また、指導を希望される利用者には、直接指導を行った。</p> <p>これらのことが、口コミで広がって平日の利用者と単身者の利用者が増加した。</p>

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日	11月29日	○	—	○	無	
11月	12月7日	1月9日	○	—	○	無	
12月	1月8日	1月27日	○	—	○	無	
1月	2月7日	3月7日	○	—	○	無	
2月	3月8日	3月31日	○	—	○	無	
3月	4月7日	5月9日	○	—	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		19,843	1,781	0	21,624	21,624	0	0
年度計画	前年度	19,627	1,781	0	21,408	21,408	0	0
	上半期	9,459	891	0	10,350	10,350	0	0
	下半期	10,168	890	0	11,058	11,058	0	0
	今年度	19,627	1,781	0	21,408	21,408	0	0
	上半期	9,476	891	0	10,367	10,350	0	17
	下半期	10,151	890	0	11,041	11,058	0	▲ 17
通年実績	上半期合計	9,476	1,624	0	11,100	10,623		477
	対収支計画比	0.0%	82.3%		① 7.1%	② 2.6%	③	4.6%
	10月	1,413	190	0	1,603	1,557	0	46
	11月	1,521	226	0	1,747	1,715	0	32
	12月	2,634	92	0	2,726	2,773	0	▲ 47
	1月	1,508	59	0	1,567	1,609	0	▲ 42
	2月	1,627	131	0	1,758	1,683	0	75
	3月	1,448	192	0	1,640	1,737	0	▲ 97
	下半期合計	10,151	890	0	11,041	11,074	0	▲ 33
	対収支計画比	0.0%	0.0%		① 0.0%	② 0.1%	③	▲ 0.3%
通年合計	19,627	2,514	0	22,141	21,697	0	444	
対収支計画比	0.0%	41.2%		① 3.4%	② 1.3%	③	2.1%	
参考	前年度 下半期実績合計	10,168	1,071	0	11,239	10,996	0	243
	対前年度 下半期実績比				▲ 1.8%	0.7%		

※その他収入の内容 事業収入、補助金、助成金、寄付金、参加者負担金、預金利息、雑収入等から該当するものを記載

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	オフシーズン下半期中に作業艇の簀及びコースブイを購入し、2艇のセルモーターの修理を行ったことに伴う支出増のため。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：10万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期	224	消防設備修繕
合計	224	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 A

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない
場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定
員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	2,458 人	2,769 人	88.8 %
11月	2,057 人	463 人	444.3 %
12月	759 人	612 人	124.0 %
1月	577 人	252 人	229.0 %
2月	274 人	638 人	42.9 %
3月	1,777 人	2,302 人	77.2 %
合計	7,902 人	7,036 人	112.3 %

	利用者数	前年同期 利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	7,902 人	7,036 人	5,000 人	① 158.1 %	② 112.4 %
上半期計	14,856 人	10,866 人	9,000 人	① 165.1 %	② 136.8 %
合計	22,758 人	17,902 人	14,000 人	① 162.6 %	② 127.2 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	通年 指定管理者提案値	その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	関東高等学校選抜ボート大会の代替開催と世界ジュニア選手権日本代表候補関東地区水上タイムトライアルを開催したため。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	年3回の関東大会等を開催したこと、また、同大会に出場する選手が、大会開催前に相模湖で練習を行ったことにより利用者が増えた。 相模湖での練習環境が良いという口コミから、高校・大学の合宿が数多く行われたこと、また、単身者や十数年ぶりに乗艇する利用者の受け入れに伴い、平日における利用者が増加したため。

<参考>

施設の最大利用可能人数 ※利用種目、時間、流動人数など条件により異なり算出不可

							合計
定員(1日あたりの延べ人数)							0
年間利用可能日数							0
最大人数	0	0	0	0	0	0	0
半期	0	0	0	0	0	0	0

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても 良い	良い	普通	悪い	とても 悪い	合計	上位2段階 の割合
総合満足度の回 答結果	64	23	10	1	0	98	87 (89.0%)
〔参考〕 上半期結果	29	45	9	1	0	84	74 (89.0%)

※今年度の実施予定

上半期 1 回

下半期 1 回

その他

※配布・回収件数

配布 107 件

回収 98 件

回収率 91.6% %

※実施方法

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 B

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	0	0
下段：報告件数のうち所管 課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
〔参考〕上半期結果	0	0	0	0	0	0
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 A

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
	<p>【事故・不祥事等を防止するための積極的な取り組み】</p> <p>初めて施設を利用する初心者に対しては、コースの利用方法についての周知な事前説明を講じることで、転覆などボート競技に起因する事故防止の徹底を図った。</p> <p>具体的には、その日の天候や利用者の力量に応じた、的確なボート競技の練習方法を提案した。</p> <p>また、突風や雷といった天候の急変に対して臨機応変に対応することにより、時には湖面利用の中止を判断し、利用者に呼び掛けをするなど、利用者の安全確保を最優先した。</p> <p>大会時には、遊船業者に対して事前に周知を行い、手漕ぎボート等がコース内に侵入することがないように入念な注意喚起を図っていることからA評価とした。</p>		

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		